

令和 6 年度第 1 回 青梅市商業振興対策審議会 会議録

日 時 令和 6 年 1 0 月 1 1 日（金）午後 1 時 3 0 分開始

場 所 青梅市役所議会棟 3 階 第 3 委員会室

出席者

委 員（8 人）

清水大会長、久保稔委員、桑田新一委員、鈴木宗委員

畦富美子委員、青木直子委員、檜島幸子委員、塩野憲司委員

事務局（5 人）

渡部地域経済部長、並木商工業振興課長

森田商業労政係長、加納工業振興係長、本橋主任

欠席者 なし

傍聴者 なし

日 程

- 1 開会および開会宣言
- 2 市長挨拶
- 3 諮問「青梅市企業誘致条例の改正について」
- 4 協議事項「青梅市商・工業振興プランの一部改訂について」
- 5 その他
- 6 閉会および閉議宣言

発言要旨

4 協議事項「青梅市商・工業振興プランの一部改訂について」

○重要業績評価指標（KPI）：年間商品販売額

委 員 資料にある年間商品販売額の新目標値は二つの数値が示されているが、二つの数値を併記するのか、それとも一つに決めるのか。

事務局 どちらか一つに決めたいと考えている。

○重要業績評価指標（KPI）：市東部鉄道駅乗降客数

委 員 JR 駅の乗降客数は以前から河辺駅と小作駅のデータを挙げているのか。

事務局 プランでは東部地域における二つの駅の数値を挙げている。

○重要業績評価指標（KPI）：従業員数

委員 データセンターが建設されると聞いたことがあるが、雇用が増えるのではないか。

事務局 当該用地は、現在、物流を中心とした計画となっている。なお、データセンターは、多くの雇用を生むものではないものと捉えている。

委員 今井のインターチェンジ北側区画整理用地は工業用地か。工場関係や物流だけでなく商業関係施設もあるとにぎわうのではないか。

委員 一部、複合業務地区が設けられており、商業関係の施設も建設可能である。

委員 中心市街地活性化において、青梅駅前にマンション建設が進んでいるが、一階部分の商店の入り具合など、今後の展望を伺う。

事務局 現在、再開発組合において、入居商店を探している状況である。

委員 青梅宿近辺エリアは、道や土地も狭くお客もなかなか集まらない状況ではある。経済の中心が東部に集中するため頑張ってもらいたい。また、人口がそもそも減ってきているため、その点についても市でも力を入れて欲しい。

事務局 昨年度設立した一般社団法人こーよ青梅では、マルシェや空き店舗紹介などを行い、市域全体のにぎわいの創出に取り組んでいる。

委員 東部エリアについては、現在も繁盛している印象を受ける。そうしたエリアで商業振興を頑張っていくというのも一案だと思う。

○重要業績評価指標（KPI）：創業者数

委員 若い経営者が古民家を活用した事業を行っている。

また、産学官金で活性化を図るということも効果的と考える。

○重要業績評価指標（KPI）：全体的

会長 ここまで様々な意見が出たが、重要業績評価指標の数値については、会長一任でよろしいか。

委員 異議なし

○施策骨子について

委員 施策方針1の「魅力ある個店づくりの創出支援」について、来店する人を増やせるようにして、お店単位で終わるのではなく産業として育てていくことを考えたい。

事務局 施策の詳細に盛り込めるか検討する。

委員 施策方針3の「立地環境や個性・特性を生かした魅力ある商店街づくりの推進」については魅力ある商店街とはなにか。個店の魅力もあるがやはり人と人とのふれあいというのが重要だと思う。ターゲットを絞ることも検討する必要があると考える。

事務局 商店街の新たな魅力やターゲット等について、今後も情報収集に努めたい。

委員 吉野梅郷商店街では、梅の成長とともに商店街の店舗が増えてきている。多くの観光客を取り込んでいきたい。

委員 市が SNS を用いて発信している「Omeblue」は、発信力が強化されている印象がある。今後、さらなる発展のために専門家を入れることも考えるべきではないか。

事務局 市では、シティプロモーション課で、インスタグラムやショート動画等で市の魅力の発信している。また、（一社）こーよ青梅を立ち上げ、市内全域の賑わいの創出に向けて取り組んでいる。